

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 4 年 11 月 20 日



豊中ロータリークラブ

第 2956 例会

第 2551 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2022~23 年度
国際ロータリー会長
ジェニファー E. ジョーンズ
(Windsor-Roseland RC)



2022.7~2023.6
会 長 都井正剛
副 会 長 武枝敏之
幹 事 岩本洋子
雑誌・広報・会報委員長
澤木政光

本日（11月20日）のプログラム

次回（11月29日）のプログラム

「職場見学と秋の家族会」

「私のふるさと」

—大阪の美術館巡りとフランス料理—

元豊中 RC 奨学生：Emre Yesil

卓話担当：宮田幹二

☆会長の時間☆

「豊中ロータリークラブの職業奉仕と秋の家族会、新会員歓迎会」

2022-23 年度 会長 都井正剛

本日はロータリークラブ会員とご家族にも参加していただき、美術館めぐりと親睦会を楽しみたいと思います。ご家族の方々のクラブ行事へのご参加有難うございます。香雪美術館は朝日新聞創業者村山龍平の日本・東洋のコレクションを収蔵する美術館であり、神戸の御影の方は昭和 48 年開館し、中之島香雪美術館は平成 30 年に開館しています。逸翁美術館は池田にあり、阪急電鉄の実業家小林一三のコレクションを集めた美術館で昭和 32 年に開館しています。本日は両コレクションの一部を拝見し日本の実業家たちの審美眼のすばらしさを追体験したいと思います。その後、新会員の歓迎会と懇親会を兼ねて、小林一三の私邸かつ芸術と世俗の一体化を目指した雅俗山荘でフランス料理を楽しみたいと思います。企画して頂いた職業奉仕委員会と親睦委員会に感謝し、新会員にも楽しんでいただきこれからのロータリー活動に積極的に参加していただく契機になればと願っています。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイポリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011
例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より
事 務 局：10 時~16 時(土日祝を除く)
H P ア ド レ ス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/
メー ル ア ド レ ス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2955回	第2952回
例会日	11月8日	10月11日
① 会員数 A	34	34
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	26	26
③ 出席義務者出席数	18	16
④ 出席免除者出席数	4	5
⑤ メイクアップ数		0
⑥ 出席義務者欠席数		10
出席率 %	73.33%	67.74%

出席率 (2955回) ③+④/②+④ 出席率 (2952回) ③+④+⑤/②+④

- ・幹事報告と11月8日の卓話原稿は11月29日の週報に掲載させていただきます。

☞ 掲 示 板 ☞

- ・職場見学と秋の家族会 本日
日 時：11月20日(日) 12:45 集合 13:00 出発
場 所：大阪の美術館巡り and フランス料理
懇親会では、コロナ禍で延期になっておりました新会員歓迎会を計画しております。
- ・地区大会
日 時：1日目 12月16日(金) 2日目 12月17日(土)
- ・年末家族会
日 時：12月10日(土) 17:45 受付 18:00 開始
場 所：ホテル阪急インターナショナル

※ご出欠は必ず12月3日までにお願い致します。

お子様のプレゼントは12月6日までに事務局にお届けください。それ以降に関しましては、当日にお名前をご記入の上、お持ちいただきますようお願い致します。

逸翁美術館

食器愛玩～食を彩る器～

私達が毎日とる食事とともに目にする食器。汁物が入った椀、食べ物が盛られた皿や鉢、お茶やコーヒー等を飲むための湯飲みやカップ、徳利や猪口といった酒器…。毎日の食を彩る器は…



♥ 11月8日のニコニコ箱報告 ♥

- ・結婚記念日祝いを頂いて 小川、南各会員
- ・入会記念日祝いを頂いて 小川会員
- ・写真を頂いて 米田、武枝、都井各会員
- ・ガバナーをお迎えして 都井会員
- ・岩本会員より片桐先生のご本を頂きました。 松山会員
- ・欠席のお詫び 眞下会員

2022-23年度職場見学と秋の家族会
2022年11月20日(日)開催
ホテルアイボリー12:45集合



- 13:00 出発
- 14:00 中之島香雪美術館到着
自由行動
- 15:00 中之島香雪美術館出発
- 16:00 逸翁美術館到着
- 16:30 小林一三記念館
- 17:00 雅俗山荘(フランス料理)にて
懇親会
- 19:30 雅俗山荘出発
- 20:00 池田、蛍池經由豊中駅着

香雪美術館

みどころ

在原業平(ありわらのなりひら)(825~880)とされる男の一生を歌とともに綴る『伊勢物語』は、虚実混交に男の恋を中心に展開します。読者の想像をかきたてた125段の短編は、成立してまもなく絵画化され、『源氏物語』にも『伊勢物語』の絵が登場します。

香雪美術館は『伊勢物語』に関わる重要な色紙絵と写本を所蔵しています。17枚の「伊勢物語図色紙(香雪本)」は、着色絵巻では現存最古の「伊勢良作で、数少ない中世伊勢物語絵の実像を知る上で貴重です。

また、『伊勢物語』の写本の大多数は、藤原定家が校訂した系統(定家本)ですが、香雪美術館の写本は定家本と異なり、第49段に「琴」の記述が見られる大変珍しい本文を持ちます。本展では『伊勢物語』を知り、その絵を楽しむと共に、香雪本の作風や制作時期について考えます。同時に、古来描き継がれた伊勢物語絵の変遷にも目を向けます。千年以上も愛され続けた、絵になる男の人生を楽しんでいただくと幸いです。